

2025 年 12 月 25 日発行

活かす通信

2026 年 1 月 (第 219 号)

<http://npo-icas.com/>

★★

山本短信 2025 年 12 月号

★★

株式相場は日経平均で見ると今年は絶好調。ただし、浮かれた話ばかりではない。僕の
の界限でみるとニデック株、サイバーダイナ株一点張りで大損した仲間もいる。一方
で、プロでも日経平均をベンチマークにしている向きは全く勝てていないだろう。

半世紀に及ぶ僕の業界経験で、株式投資で笑いが止まらないほど大成功した話がい
くつか思い浮かぶ。その反対も。すこし長いが新聞によりますと。

「小山市の無職男性(59)は宇都宮地裁(滝岡俊文裁判長)で、米アップル株を売却し
て得た所得 6 億1143万円をかくし所得税9141万円の所得税法違反の罪に問われ
た。

2000 年ごろ 100 万円の資金をアップル株投資して 20 年後に売却したようだ。

1ドル未満でアップル株に投資、一昨年に売却したのだろう。

この方は、税金だけではなく、持っていることを忘れてしまったのだろうか。

僕の欧州時代、ジャフコが EDR(欧州預託証券)すなわち疑似株券を発行したことが
ある。個人の富裕層資金を運用していたベルギー人 A さんに頼んでたくさん買って
もらいその後、僕は転勤。1988 年のことだ。1990 年に日本株は暴落したが 90 年代の
VC ブームでジャフコは暴騰。なんと、証券会社から送られる保有証券リストに EDR は
出てこないのだ。数年後資金に過不足があったのが発見されたのか、僕の後任が
古い帳簿で確認したのか、はたまたジャフコ EDR の投資家を再度狙って営業したの
かしらないが、既にジャフコは大幅に上昇していて売却したら何億円も金が増えただ
と。

そこで、大儲けの極意がわかってきた。

1. もっていること、または投資したことをすっかり忘れてしまった人
2. たまたま、持ち株上昇過程でパスワードを忘れてしまった人
3. 死んでしまった人
4. 職務上、売買がむづかしい人

などなどだ。

死んでしまったのでは意味がないが、子供たちは大喜びだろう。

これも実話だが、老母が株を N 大手証券でやっているのは知るには知っていたが、その老母が、ある時あまりにも損が多いと、近所の高齢独身 OL(大手プラント会社の社員)にこぼすと、なんと彼女はアドバンテストと東京エレクトロン、IHI、富士電機などを買っていて持ちきりだと聞いたそう。その母親は、聞いた銘柄を買い付けそのまま天国に召されて、今回の大暴騰。この方は、テレビによく出る方だ。

こちら、僕の友人で、大手証券で外国株の決済の仕事をしていた 2000 年少し前、マイクロソフト株 IT 銘柄が動き出すころに、ふと米株だと感じて手元の資金で分散して買付けた。もちろん社内の規定通り役員の許可をもらっての投資だ。ほぼ翌日から大暴騰。売り禁止期間が明けても少し持っていると、なんと資産は 5 億円になったと。その後、売却し、IT バブル崩壊も逃れた。その時、僕はソウル勤務で彼から退職とその理由を電話で聞いた。

まあ、こんな話は「山で熊に出会ったら寝たふりをしろ！」に似てる。寝たふりをして食われた人は語れないので。まあ、すべての僥倖の裏には屍の山があるに違いないが、示唆はあるなあ。

とはいえ、株式投資全般に有効な資質がありそう。

順不同で、どこかでの聞きかじりを書き出してみるのも、自分自身と比較してみるといいだろう。

◎何事も凡庸で、出世も早いわけではない

◎生命保険など保険物は好かない

◎時々、大きく株を買うことがある

◎世間でいう自己啓発はやらない

◎根っから天邪鬼で変人と思われている

◎根はやさしく、気前もよく決してケチではない

株式大成功者のパターンに上記の性格の人が多いらしい。

逆がデイトレーダーをやっているのが大損グループだ。米国の賢者にデイトレードという、ずいぶんお金がかかるご趣味ですねといわれる。大相場でも、下げ相場でも、小波相場でも株式投資で儲けるのはたいへんだが、楽しみでもある。さあ、2026 年はどうしよう。2027 年は有名な、大統領選の前年なので 1945 年以降の経験から上昇は疑いない。すると、低い発射台となることの多い前々年の 2026 年は桑原桑原(くわばらくわばら)。

山本記

★★

イカスイベントスケジュール

★★

イカス主催の投資クラブ

01月07日(水):15:00～花咲投資クラブ (A)
01月17日(土):15:00～スペリオール投資クラブ (B)
01月22日(木):15:00～東京3E投資クラブ (A)
02月04日(水):15:00～花咲投資クラブ (A)
02月21日(土):15:00～スペリオール投資クラブ (B)
02月26日(木):15:00～東京3E投資クラブ (A)

イカス主催のイベント(2026年)

1月16日(金):18時～21時:第41回カラオケ倶楽部、倶楽部エル
参加費:7500円(食事+飲み放題)、7000円(ノンアルコール)

01月24日(土):11時～ 特別イベント(横浜割烹田中屋での食事+歴史)

トークショー:田中屋女将と朗読家郷圭子、20人

参加費12000円、11000円(会員価格)

02月07日(土)10時:特別イベント(お煎餅工場見学)、10人
神田淡平本社工場

02月25日(水):15:30～第13回イカス萬来塾:福原健一氏
NHKアナウンサー 「私の出会った名監督」 (D)

03月03日(火):15:30～第14回イカス経済金融文塾:郷圭子氏 (C)
朗読会の前に経済金融の話もあります(望月純夫理事長)

6月05日(木):18:00~イカス夏の交流会、外国特派員協会

基調対談：勝池和夫（イカス常任理事）出版記念

「バフェットの考え方とインド株への投資」

歌手：未定

参加費：13000 円、12000 円（会員価格）

萬来塾（経済金融文化塾）の参加費は 4000 円、3500 円（会員）

投資クラブ会場は (A) 新宿御苑前中交公ビル 604

(B) はニュー新橋ビル 3F 昭和ブックカフェ、(C) は萬来舎

萬来舎は 4000 円（ケーキセット込み）(D) は参議院議員会館

info@npo-icas.com

★有料メルマガ:毎週日曜日の発行。

年間購読料は 24000 円(月 2000 円)。特別会員:60000 円

★イカス会員募集中；年会費5000円

寄付金募集中：1口 10000円

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ムッシュのつぶやき

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今年は相場格言による「辰巳天井、午尻下がり」と、今年から来年にかけて市場に転機が訪れる可能性があるとし唆するものが見られる。1988 年から 1989 年、1990 年のバブル崩壊が意識されるものであろう。当時の日経平均を構成する銘柄の PER は 60 倍と、現在の 19 倍程度と比較してもバブルの度合いが明らかである。当時の市場参加者は法人投資家と海外投資家であった。現在の投資家の中心は海外投資家と個人投資家である。また個人の投資家は、新 NISA により市場に参加した長期の投資家も多い、海外投資家は日本株の割安（PBR の 1 倍割れ）に注目した投資家も多い。これらの投資主体を見る限り「午尻下がり」は、あまり意識する必要はなさそうである。今年の日経平均を見ると、ソフトバンク HD、フジクラ、アドバンストメディアの大幅上昇に象徴される。この流れは変わる可能性は非常に高い。しかし、東証の政策である PBR1 倍割れの企業をなくす政策は今後も市場に変化を齎すことは間違いない。「持たないリスク」が益々意識される年になろう。その大きな支えになるのが「高市政権」でもある、市場には明るい未来が必要である。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

発行者：特定非営利活動法人 ICAS（イカス）

東京都中央区日本橋室町 1-2-6 日本橋大栄ビル 7 階

電話：080-5004-7037

info@npo-icas.com <http://npo-icas.com/>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

内容については万全を期していますが、その内容を保証するものではありません。また、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当方は一切責任を負いません。投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。ご意見、ご感想、広告に関するお問い合わせ等は、下記までお願いいたします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★